

# 平成19年度オープン予定の給食センター

## 庁内協議と調査不足？ 用地買収に入りながら一転、建設事業がストップ



農業用水改修事業に障害が出るからと言われていますが、なぜ、突然の問題が、十分な検討がされてきたのか疑問

旧中主町の八夫地先に予定されている学校給食センターの建設事業が、事実上、ストップしています。今後の推移によっても影響しかねず、行政の責任が問われています。

新給食センターの建設は、八夫地先(湖南病院隣接地)での建設が決まっています。3月市議会では、合併特例債を活用した、用地買収費や造成費の予算も承認されました。

予算承認後、教育委員会は用地買収の交渉を進めてきました。ところが、この場に及んで野洲川農業用水路の「水口頭首口」改修工事の関係から、給食センター建設が事実上、保留になっています。

これは、旧二町も利用している野洲川ダムの農業用水について、野洲川土地改良区が水口頭

首口の改修を平成18年度に国の事業採択を受ける予定しています。しかし事業採択の基準は、「受益面積が3000ヘクタール以上」とされています。現在の受益面積は約3030ヘクタールで、これ以上農地が減少すれば採択基準に達しないことから、給食センター建設で農地が減少することが問題となったものです。

そもそも公共施設の建設は関係法令や諸条件をクリアするため、市役所内の関係部課で協議や調査を行うことは当然です。これらを検討し、市として事業決定するのが常識です。

にもかかわらず、給食センター建設の用地決定に際し、関係部課間での事前協議や調査・検討が不十分で、問題があらわになってから、突然、保留したということであれば行政の怠慢です。

「受益地域」である湖南地域(守山市・栗東市・野洲市など)は、近年の民間などの開発で農地は減少の一途です。一方で、公共施設である、給食センターが建設できなものは極めて異例です。

いずれにしろ、給食センター建設決定にいたるまで、教育委員会での検討は不十分です。19年度からの中学校給食実施が遅れることは許されません。

### 市民の関心高まる「新幹線栗東新駅負担やめよ」の請願

## 2億7000万円(野洲市分)の負担やめ、暮らしを守って…。

野洲市が新幹線「栗東駅」舎建設のため、JR東海に2億7000万円を寄付することに市民の強い批判が日増しに高まっています。このような中、「駅舎建設費の負担中止を求める野洲市民の会」が結成され、負担中止を求める請願署名が取り組まれています。

署名運動に対する市民の関心と期待は高く、新駅設置の必要性和この建設費を野洲市が負担することへの批判とともに、一方で市民に国保税や介護保険料を大幅に値上げる市政に批判がいつそう高まっています。請願は6月市議会で審議されますが、議員の態度が問われます。



30日に市議会に提出  
さらにご協力ください

署名は30日  
提出します

請願書は市民みなさんの署名とともに、30日(月)市議会に提出されます。署名にご協力いただければ、29日(日)までにお届けくだされば幸いです。ご一報ください。

# やす民報

日本共産党野洲市委員会  
2005年5月29日 32

市政・市議会へのご意見・ご要望、暮らしの相談をお気軽にお寄せください

小菅六雄 比江668-3 (電話)589-4971 (FAX)589-6184  
野並享子 北野一丁目7-10(電話)587-0985 (FAX)586-1102